

令和5年度人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業 審査結果

人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会における審査の結果、貴学から申請のあった下記プログラムが採択されました。

申請大学（代表校）名	神戸大学
プログラム名称	地域/社会課題を解決する対話型ビジネス価値共創人材養成のための価値創発から社会実装までの一貫教育プログラム
連携校名	小樽商科大学、和歌山大学

（採択後公表）

〔採択理由〕

本プログラムは、様々な利害関係者との創造的な対話を通じて、地域や社会における課題の解決に貢献できる対話型ビジネス価値共創人材の養成を目的とするプログラムであり、人社系大学院におけるキャリアパスの開拓が課題となっている中、養成する人材像が明確であること、また、企業や自治体との緊密な連携のもと、創造的かつ実践的な教育を提供する取組となっており、カリキュラムや開設する科目など具体的なプログラム内容がよく練られ、実施体制や評価体制が整えられていることは、高い評価に値する。

代表校である神戸大学では、経営学研究科を中心に、産業界へ高度経営人材を送り出すための取組を以前から行っており、本プログラムもその一環として位置づけられ、既に企業等との連携の実績もあることから、補助期間終了後も、大学自体による財政的な支援や企業等からの外部資金の獲得が期待でき、プログラムの継続性、発展性も十分に担保されていると言える。

また、本プログラムが、新規事業化に強みを持つ小樽商科大学、地域課題解決に強みを持つ和歌山大学と連携し、それぞれの強みを生かすことにより、ビジネスの広い領域をカバーし、多様な人材の養成が可能なものとなっていることは、ネットワーク型の大学院連携体制の構築を目指す本事業の趣旨に合致した取組であると言え、このことも高く評価できる。

本プログラムにおいては、補助期間の後半に学位プログラム化が検討されているが、そのことも、取組に対する意欲の高さを示している。また、神戸大学においては、本プログラムを博士後期課程に展開することも構想中で、人社系の大学院におけるキャリアパスの開拓が、前期課程のみならず後期課程においても大きな課題となっていることを考えると、そうした構想を持っていることも、本プログラムの先進性として高く評価することができる。